

# 一般質問発言通告書

発言順位 11番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 6年 6月 11日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 1 番 秋山 恭亮

質問事項 1	三島市の危機管理体制について
具体的内容	大地震、台風、線状降水帯など自然災害は激甚化・頻発化している。三島市の危機管理体制やマニュアルは、日本の中ではかなり整備され進んでいるものだと評価している。防災に関しては「ここまでやればよい」「これで十分である」というゴールはなく、いつ来るかも知れぬ災害に対し常に備え、補完していかなければならない。また市民の意識や行動に関わる災害対策は次々とハードルが引き上げられている。やらなくてはならない、やったほうが良いことは山積しており、日々終わりのない危機管理業務に携わっている担当課職員の皆さんには敬意を払うところである。そのうえで、以下について伺う。
	1 市内外の宿泊施設を営む企業や協会・組合と、災害時における協定について
	2 民間企業との災害時の協定や会議、訓練、申し合わせについて
	3 災害廃棄物の仮置き場について
	4 広域避難所運営について
	5 災害廃棄物仮置き場について
質問事項 2	自治会・町内会や自主防災組織の負担軽減、DXについて
具体的内容	三島市には143の自治会・町内会があり、災害時の助け合いや市民の日常生活の互助を担っている。自主防災組織や居場所作りサロン、シニアクラブなど自治会・町内会を基幹としている組織や活動も重要なものも多くある。また市が委託した業務をこなすことも多く、三島市の中で無くてはならない共同体であることは周知のことである。
	現在、時代や価値観の変遷により、自治会・町内会の担う業務も複雑化し多様化している。また社会的に書類や連絡方法のDXも進んでおり、自治会・町内会・自主防災組織においても、デジタル化の必要性が高まっている。そこで以下について伺う。
	1 自治会の負担軽減・助成について取り組んでいることについて
	2 自治会のデジタル化・DXについて取り組んでいること、助成制度について
	3 自主防災組織への支援体制について
	4 今後の自治会・町内会・自主防災組織への助成・伴走支援について
質問事項 3	伊豆ファン倶楽部について
具体的内容	令和6年2月15日よりスタートした伊豆ファン倶楽部は、国のデジタル田園都市国家構想交付金9000万円を活用し、伊豆エリアの利用者の行動データを活用して関係人口の増加と地域活性化を図るための事業であり三島市・熱海市・函南町が広域連携して実施しているものである。スタートして4か月が経過した現在の状況と今後の展開を伺う。
	1 現在の状況
	2 市民・参加加盟店からの問合せ・質問・要望・苦情等
	3 DL数・加盟店の目標数との乖離、修正の有無
	4 アプリの利便性向上について
	5 今後の2市1町以外の市町の参加状況見込み
	6 地域通貨機能の追加などの事業拡張について